

平成29年 月 日

矢作川感謝祭 開催企画書（案）

【1】全体概要

◆開催方針

①「豊かな自然は足元にある」

矢作川の中での遊びを通し、矢作川流域の身近な自然の面白さを知る。

②「いろいろいるから面白い」

矢作川流域の森・川・海には多種類の生き物が棲んでいることを、みんなできめぬ。

③「自由な遊びは自己責任で」

危機管理も含め、矢作川の中での遊びは自己責任であることを広める。

◆イベントの開催目的

矢作川は本流だけで7つのダムを持ち、都市住民の生活、農業、工業などに徹底利用された過酷な環境の川である。しかし、矢作川は流域の人々の生活を支え、うるおいや安らぎを与えると同時に、アユやウナギなどの回遊魚をはじめ多くの生きものを育てている。流域での人々の暮らしや生き物の生命を根底で支えている命の水の循環は、森、川、海にあります。

委員会は、矢作川流域の課題を今一度再認識するとともに、矢作川流域の自然の恩恵にあらためて感謝し、その実力と魅力を多くの人々に伝え、共感と行動へとつながることを目的とする。

【2】開催内容

◆日時 2017年9月 2日（土） 荒天候中止

○第1部 8:00～11:00（予定）

○第2部 11:00～15:00（予定）

◆会場 ○第1部 矢作川流域

○第2部 千石公園（スタジアム西側）

◆内容 矢作川で一日、楽しめるようなイベント

【予定】 ○釣ろう！ ・魚釣り大会（雑魚・アユ）

・川遊び（魚捕りなど）

○食べよう！ ・塩焼アユ販売

・雑魚試食

○遊ぼう！ ・ゲーム、ワークショップ
・トークショー、クイズ

○感じよう！ ・川遊び（魚捕りなど）
・矢作川移動水族館（釣った魚展示）
・木こりオリンピック

◆主催 矢作川感謝祭実行委員会

《構成》矢作川水族館、矢作川天然アユ調査会、鮎モニター
NPO 法人矢作川森林塾、矢作川漁業協同組合、(株)鈴鍵、
トヨタ自動車労働組合、矢作川水系森林ボランティア協議会、
天狗堂、上州屋、イシグロ

◆参考 H28 開催状況

開催日：平成28年9月10日（土）

場所：千石公園・河川敷（豊田大橋下 左岸）

参加人数：約600名



川遊び



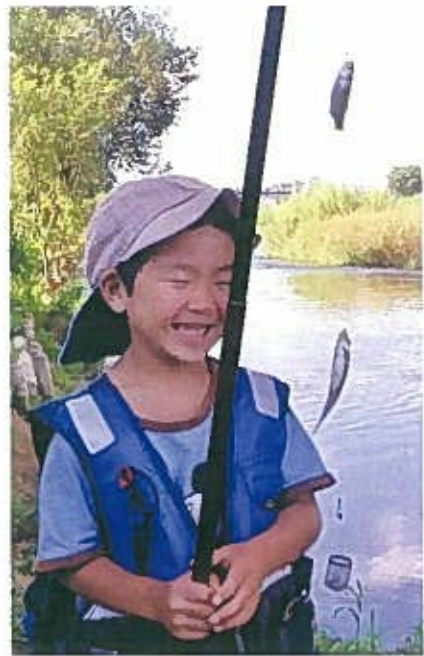
さかな釣り教室



移動水族館



会場風景

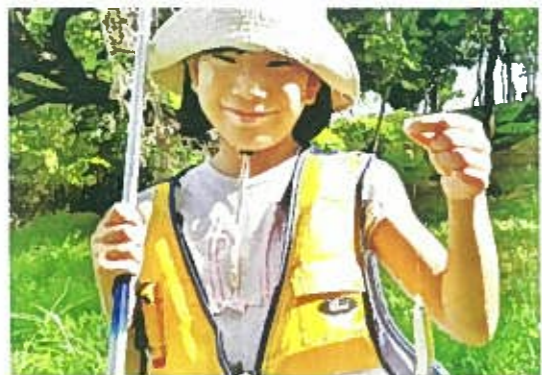


豊田大橋の下で、さかな釣り教室。
こんなところでも、魚が釣れるんだ。

満身の笑みを浮かべたければ、長い竿を手に、矢作川で、雑魚を1匹釣ればいい。

魚釣り

「キャ、かわいい魚！」
その後、少女は真顔で、「この魚、おいしい？」と聞いた。健全だね。



ただいま検量中!

参加者50人の釣った魚は、検量所でスタッフがチェック。オイカワなどの対象魚は、釣り上げた子どもと一緒に、ミリ単位で計測する。



初めて釣った魚は、一生忘れない!
「釣れるものは、何でも釣ろう!」が、矢作川さかな釣り大会の合言葉。どんな魚でも、釣れば嬉しい。そんな初心を忘れてはいけない。子どもたちの笑顔が、大切なものを教えてくれた。

少し大人な鮎釣り教室も開催!



釣ろう・食べよう・遊ぼうー

矢作川感謝祭

2016.9.10 memory

釣

さかな釣り大会にむけ、川あそび大会も開催。つかまえた魚で、矢作川水辺をきれいしよう!

食

地元「矢作川産天然アユ、雑魚料理の試食会、五平餅、うどん、カブキなど出店多数!

遊

わなげ、コリントなどのゲームも、その他、アクセサリー・作りのワークショップなども出展。

矢作川感謝祭・会場案内図

第1部 8:00~11:00
川あそび大会 8:00~11:00
さかな釣り大会 釣り教室 7:00~11:00

第2部 自由参加 11:00~15:00
リバーパーティー 11:00~15:00

会場: 豊田大橋下 (東岸の千石公園)

2016 矢作川感謝祭

2016年9月10日(土)

第1部 8:00~ さかな釣り大会・つり教室・川あそび大会 (申し込み要)

第2部 11:00~15:00 リバーパーティー (自由参加)

会場: 豊田大橋下 (東岸の千石公園)

主催: 矢作川感謝祭実行委員会 <http://yahagigawasuzokukan.web.fc2.com/>

矢作川感謝祭実行委員会

みんな、水がスキ、川が好き！

午前9時、かご川の荒井橋の下に集まった親子は、なんと230人。梅坪有志水辺愛護会と豊田みよし・おやこ劇場のサポートの中、夏丸さんとの川遊びが始まった。

天気はいいし、気持ちいい。



川遊び



「川の事故は、すべて自己責任です。危険を学びながら、この川の魚を全部捕まえちゃいましょう！」(笑)。これが感謝祭の基本姿勢。



かご川は魚も多いし、流れも緩やかだから、川遊びには良い支流だ。何より、岸辺が開け、近くに駐車場やトイレがあるのがうれしい。



手をつないで川を歩く親子の姿が、あちこちに。小さな子にとって、川歩きは大冒険なんだろうな。



ぬるぬる、うなぎの放流

一色養鰻漁協の協力で、うなぎの放流を行った。「うひゃひゃひゃ」とにかく、子どもたちは生きものに触れて大喜び。歓喜の声がこだました。



へろっ、矢作川には、こんな魚がいるんだ。

川遊びや釣り大会でつかまえた魚で、矢作川水族館が完成！。にぎやかな水槽を見て、一人の少年が言った。「へろっ、矢作川って、すごいんだね！」

いろいろいるから、面白い。



「これ、オレが釣った魚だし」「オレ、今度、これ釣るし」彼らは、きつとまた、矢作川に訪れ、魚と遊ぶのだろう。

水族館

子どもが水槽から離れない。理由は簡単、彼らは理屈抜きに生きものの面白さをしているんだ。



スッポンやウナギが、矢作川にいることを知らない人のほうが多い。川や自然を守るという前に、まず川を少しでも知ることだ。

プロの作る 雑魚料理が旨い！



急遽作ることになった鮎の味噌汁も、大好評。考えてみれば、鮎で味噌汁なんて贅沢だよなあ。

雑魚のから揚げや素焼きは、親子に大人気。うまい、うまいと手が伸びる。捕まえた喜びが、食べる喜びにかわった。





参加者600名で売り切れ店続出。



どのお店も長蛇の列。参加者数の予想が立てれず、ご迷惑をおかけしました。



River Party

おいしいが
集まると、
笑顔が広がる。

RoomWorks
カフェ、アルコール販売

いとカフェ
プチサラダ丼・トルティーヤ



左記の店舗の他、森林塾の（お茶、飲料水の販売）、矢作川漁協の（天然鮎の塩焼き）、雑魚料理部会の（雑魚料理）など。たくさんの協力により、会場はおいしさであふれかえった。

一色養鰻漁協
うなぎ串、肝串。
うなぎのおさわりコーナーも。

とよた五平餅学会・野田味噌商店
天然醸造の自社味噌を使った五平餅



参加者全員の「お〜」という掛け声で、感謝祭は始まった。



矢作川感謝祭・午後の部は、鉄崎幹人さんのミニライブから始まった。曲は「海の声」をアレンジした「川の声」。その歌声に、会場の空気が、ぐっと盛り上がる。

鉄ちゃんの歌声が、川風にのる

ご協賛いただいた皆様、ありがとうございました。

当り前の串打ちも、市民から見れば神業。つい、食い入るように見えてしまう。養殖鮎250本には、長い列が出来た。

矢作川漁協・鮎の塩焼き



おいしい鮎は、焼き方も美しい。魚の焼き方、魚の食べ方を見れば、魚への愛情がわかる。

大人気のコリントゲーム。アツあるダムに、引っかかるアウト。これこそ、環境教育だね(笑)。



思い出を こころに残す かたちに残す

River Party

作る



賑やかだけど静かな場所を見つけた。矢作川水族館のワークショップだ。親子が、真剣な表情でカキカキしている。「できた〜!」「うわあ、ステキな魚」こんな遊びの向こうがわには、いつも矢作川とたくさんの魚たちがいる。



クイズ大会



写真を見ながら問題を
出す「矢作川クイズ大会」。
簡単なものから、マニア
ックなものまでいろいろ。
賞品が豪華なので、子ど
もたちは、みんな必死だ。

ステージ

鉄崎さんと夏丸さんの 水辺のトークショー



川や魚が大好きで、矢作川でも良く遊ぶ二人のフリートーク。リアルで、新鮮な話に子どもも大人も楽しんだ。「もっと遊ぶ、もっともっと遊べ」の声に、たくさんのお母さんがうなづいた。



矢作川水族館の「雑魚わなげ」。10年後の彼は、きっと、投網を打っているんだろうなあ(笑)。

River Party

遊ぶ

今年の感謝祭には、遊びの要素が加わりました。釣り好き、川好きだけでなく、より多くの「市民を川に呼ぶ」工夫です。会場は、子どもたちの声で、ぐっと明るくなりました。

豊田みよし・おやこ劇場

ボールすくいのほか、たくさんのおもちゃを持ち込んで、遊んでくれました



稲武・地球小屋

ストロースターを作ろう。藁を使ったアクセサリ作りをしました。



表彰式



おめでとう。
今日から君も、
立派な釣りバカです。



表彰式では、魚釣り大会、川遊び大会、あわせて15人が表彰台に立った。数を競わない大らかな大会なので、受賞者は子どもからお母さんま。みな嬉しそうだ。



鉄ちゃんのラストステージは、BEGINの「島の宝」。大切なものは、足もとにあるんだというメッセージが、遊び疲れた心に染みだ。



午後3時。閉会式は、感謝祭に関わった多くの人にありがとうといって締めくくった。協賛社、店舗、実行委員、そして最後に...

閉会式

矢作川、ありがと〜う！！

